

2013年度決算概要 及び 2014年度業績予想

 住友重機械工業株式会社
社長 別川 俊介

経営方針

2014年度

- 「中期経営計画2016」の初年度として、
今年度を成長軌道に乗せる年と位置付ける。
- 堅実な経営を継続する。
- 売上高6,500億円、営業利益370億円の
目標を必達する。

・量産機械系事業の収益力回復

- … 新商品の投入などにより収益力を回復。
機械コンポーネント、精密機械は営業利益率10%に向けて足場を固める。

・重機械系事業の構造改革推進

- … 産業機械、環境・プラント関連で構造改革実施。
事業の自立を目指す。

2013年度 業績サマリー

ポイント

(1) 受注高

- ・全セグメントで前期比増加。
- ・リーマンショック後初めての6,500億円超え。

(2) 売上高

- ・産業機械、船舶は減少。
- ・他セグメントは受注増の影響を受け増加。

(3) 営業利益

- ・産業機械、船舶を除き増加。

(4) 当期純利益

- ・大きな特別損失がなく大幅増益。

単位: 億円

	2012	2013	増減
受注高	5,507	6,582	1,075
売上高	5,859	6,153	294
営業利益	313	343	30
営業利益率	5.3%	5.6%	0.3%
経常利益	310	330	20
経常利益率	5.3%	5.4%	0.1%
特別損益	202	17	185
税金等調整前 当期純利益	108	313	205
当期純利益	59	179	120
当期純利益率	1.0%	2.9%	1.9%

セグメント別営業利益

対前年度比較

単位: 億円

< 機械コンポーネント >

海外市況は回復、国内市況は好調のため大幅増益。

< 精密機械 >

半導体関連が不振だったが、プラスチック機械、極低温冷凍機は好調。

< 建設機械 >

油圧ショベル、米国モバイルクレーンとも売上増により増益。

< 産業機械 >

受注残が少なかったため、売上が減少し微減。

< 船舶 >

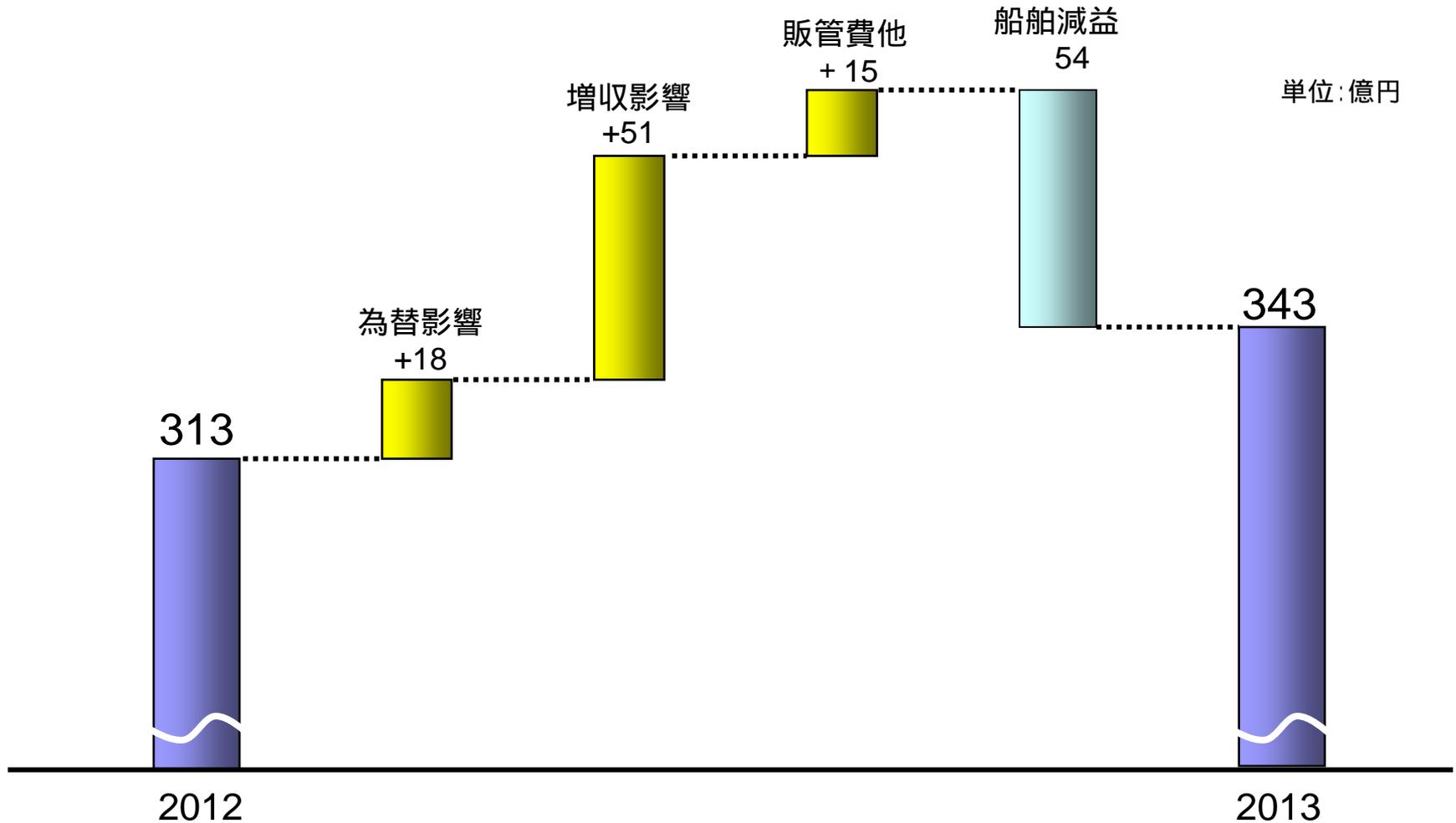
新造船の引渡しは1隻。
操業損の発生等で大幅減益。

< 環境・プラント >

売上増に伴い増益。

	2012	2013	増減
機械コンポーネント	28	59	31
精密機械	86	87	0
建設機械	61	103	42
産業機械	44	41	3
船舶	24	30	54
環境・プラント	56	62	6
その他	14	22	7
計	313	343	30

營業利益增減分析(2012年度 - 2013年度)



連結貸借対照表

純資産は初めて3,000億円超。自己資本比率は45.1%に。
建機のリース債権オンバランス化により、投資その他の資産が増加。

単位: 億円

	2013/3末	2014/3末	増減		2013/3末	2014/3末	増減
流動資産	3,866	4,350	484	負債	3,549	3,931	382
現預金	478	678	200	買掛債務	1,136	1,242	106
売上債権	1,733	1,820	87	前受金	209	305	96
たな卸資産	1,392	1,442	50	有利子負債	985	1,074	89
その他	263	409	146	その他	1,218	1,310	92
固定資産	2,611	2,892	281	純資産	2,928	3,311	382
有形固定資産	2,107	2,203	96	株主資本	2,618	2,751	133
無形固定資産	78	86	9	その他の包括利益 累計額	271	513	242
投資その他の資産	427	603	176	少数株主持分	40	46	6
合計	6,477	7,242	765	合計	6,477	7,242	765
				ネット有利子負債比率	7.8%	5.5%	2.3%
				自己資本比率	44.6%	45.1%	0.5%

連結キャッシュフロー計算書

前受金、買掛債務増加により運転資本が好転。

単位:億円

区 分	2012	2013	増減
営業活動	27	637	610
税金等調整前当期純利益	108	313	205
減価償却費	183	186	3
運転資本	261	186	447
その他(税金等)	3	48	45
投資活動	197	276	80
フリーキャッシュ・フロー	170	360	530
財務活動	114	95	19
現金・現金同等物増減	264	299	563
現金・現金同等物期末残高	465	764	299

2014年度業績予想

2014年度は増収増益。
2013年度配当は7円。2014年度配当は年間9円に。

単位:億円

	2013上期 実績	2013下期 実績	2014上期 予想	2014下期 予想	2013年度実績	2014年度予想
受注高	3,065	3,517	3,200	3,300	6,582	6,500
売上高	2,730	3,423	3,000	3,500	6,153	6,500
営業利益	84	260	120	250	343	370
営業利益率	3.1%	7.6%	4.0%	7.1%	5.6%	5.7%
経常利益	78	252	105	230	330	335
経常利益率	2.9%	7.4%	3.5%	6.6%	5.4%	5.2%
特別損益	2	15	10	5	17	15
当期純利益	34	145	55	135	179	190
当期利益率	1.2%	4.2%	1.8%	3.9%	2.9%	2.9%
配当	3円	4円	4円	5円	7円	9円
配当性向					24.0%	29.1%
ROIC (税引後)					4.8%	5.3%
織込レート(ドル)					98.2円 (実績)	100円

ROICの税率は14年度より45%から40%に変更

機械コンポーネント

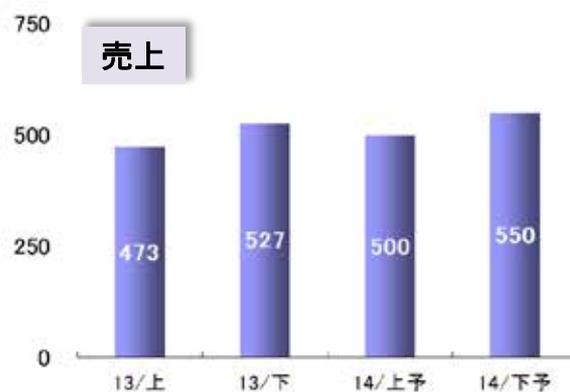
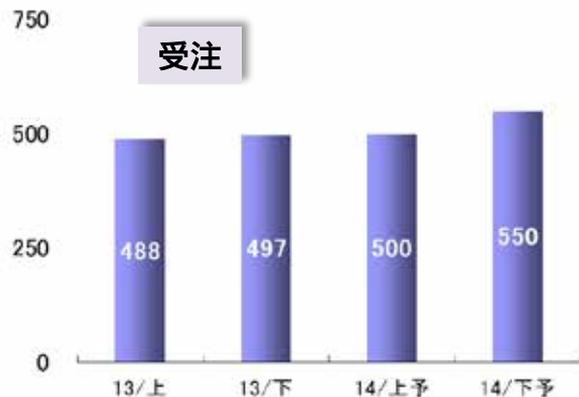
受注・売上

- 13年度： 海外市況の回復に加え、国内市況も好調により、受注・売上ともに増加。
資源関連向けの大型減速機の需要低迷は継続。
- 14年度： 国内は堅調に推移。海外は緩やかに回復を継続、北南米は回復基調だが
中国・欧州の回復は限定的。

営業利益

- 13年度： 国内および海外生産拠点の収益が改善。
- 14年度： 大型機種種の採算改善、海外子会社の収益改善により利益率を改善。

単位：億円



精密機械

受注・売上

<プラスチック機械>

13年度：アジアを中心に電子、電機関連が好調であったことに加え、欧州で受注・売上とも増加。

14年度：アジアでの電子、電気関連の需要は足元好調だが季節要因大、欧州市況は前年度並み。顧客業種、地域ごとの受注を強化。

<精密先端機器>

13年度：医療機器用コンポーネントである極低温冷凍機が好調継続。

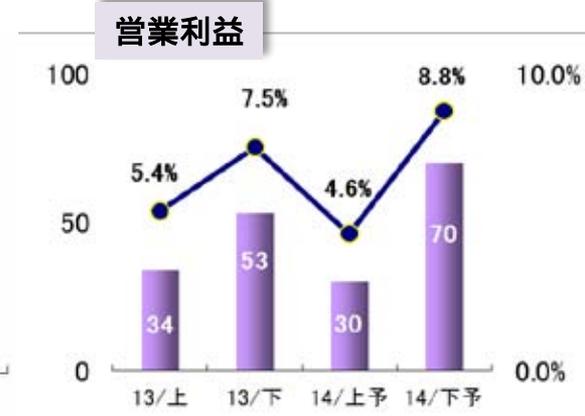
14年度：冷凍機は引き続き好調。半導体関連の受注を強化。

営業利益

13年度：半導体関連が低調に推移したが射出成形機の回復により前年比横ばい。

14年度：精密先端機器の回復。

単位：億円



建設機械

受注・売上

<油圧ショベル>

13年度：国内市況は復興関連と排ガス規制で好調に推移。北米は在庫調整で一時的に受注減少。中国は一般建設向けを強化し前年度比で増加。

14年度：国内は反動で減少。北米、中国は市況回復で緩やかに増加。

<モバイルクレーン>

13年度：北米のエネルギー関連、インフラ関連で堅調。

14年度：上期の需要は前年度並みで推移し、下期は増加に転ずる。

営業利益

13年度：油圧ショベル・モバイルクレーンとも売上増により利益増加。

14年度：国内油圧ショベルの売上減少により、利益は減少。

単位：億円



産業機械

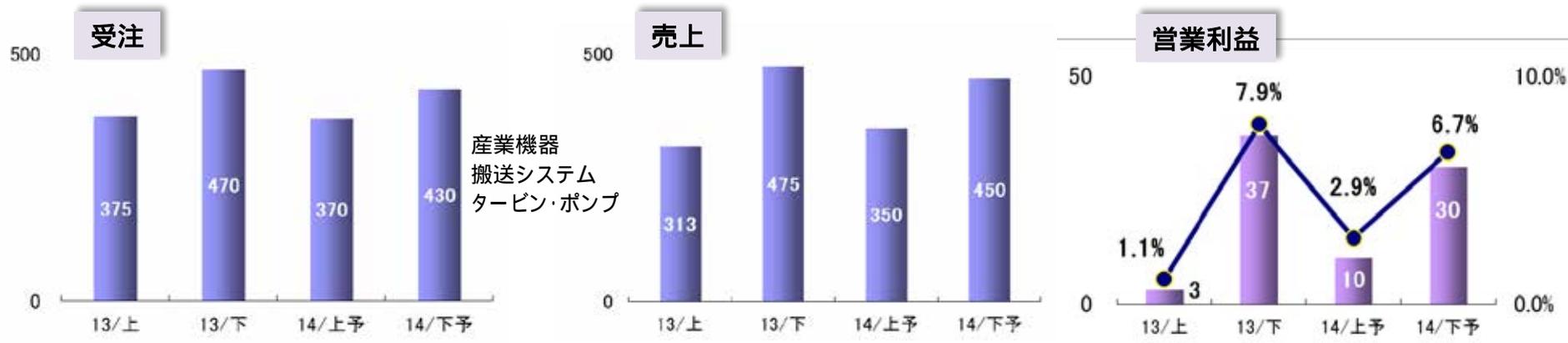
受注・売上

- 13年度：** 産業機器は陽子線がん治療装置を2件受注。搬送システムは国内および海外の発電設備向け大型搬送設備で受注。タービン・ポンプは円安による海外での受注環境好転に加え、国内バイオマス発電市況の好調で受注増加。
- 14年度：** 受注は、タービン・ポンプが海外市況の好調持続などにより増加するも、産業機器、搬送システムは減少。売上は受注残により維持。

営業利益

- 13年度：** 医療システム関連で収益悪化。
- 14年度：** 受注採算が厳しい状況が継続するが、各事業で収益改善を目指す。

単位:億円



船舶

受注

13年度： 第1および第3四半期にアフラマックスタンカー各2隻、第4四半期に同1隻を受注。これにより、13年度末の受注残は6隻。

14年度： 為替動向はプラスだが、ドル船価が低いレベルで推移しており、受注環境は引き続き厳しい。上期2隻は4月に受注済み。下期2隻の受注計画。

売上

13年度： 第1四半期にアフラマックスタンカー1隻を引渡し。

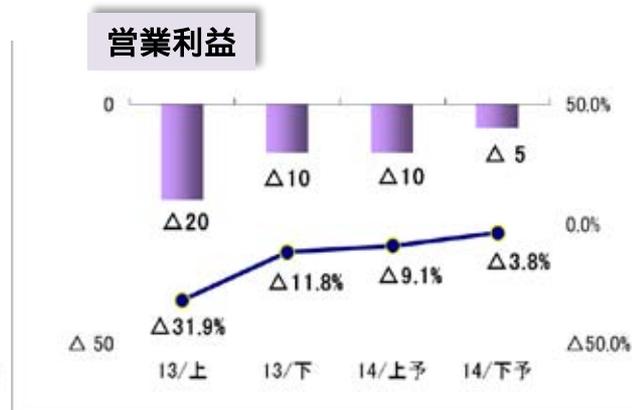
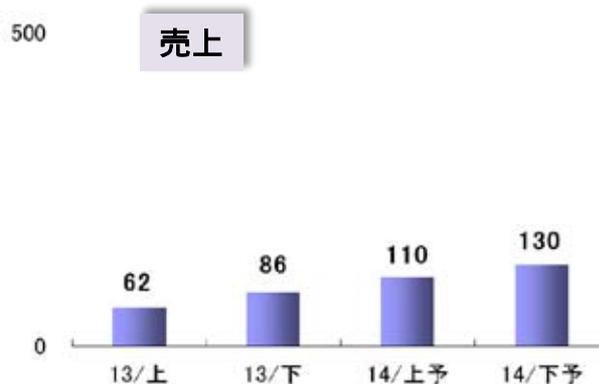
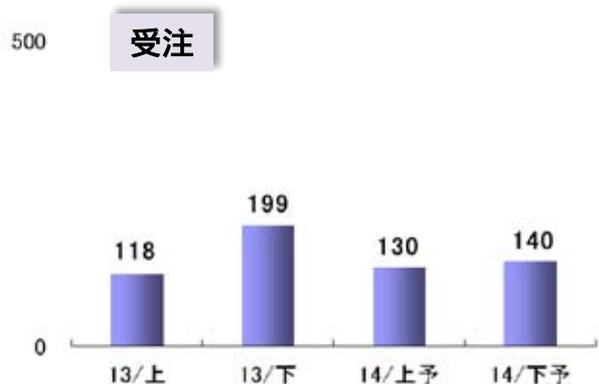
14年度： 上期にアフラマックスタンカー1隻、下期に同2隻を引渡し予定。

営業利益

13年度： 低操業状態を固定費削減により赤字拡大に歯止め。

14年度： 前年の受注回復により操業度改善、赤字幅は縮小。

単位: 億円



環境・プラント

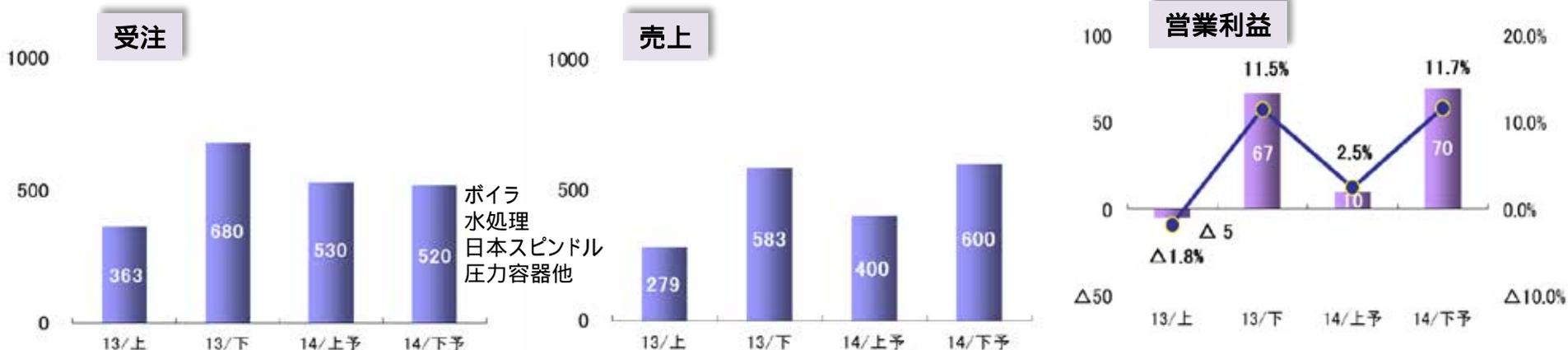
受注・売上

- 13年度： ボイラは国内のバイオマス関連案件が活発で受注、売上ともに増加。
水処理は国内市況全体が好調に推移したことから受注・売上ともに増加。
- 14年度： ボイラは国内向けが好調継続。水処理も堅調に推移。

営業利益

- 13年度： ボイラ、水処理プラント中心に収益改善。
- 14年度： 売上増加により営業利益は前年度比で増加。

単位：億円



2014年度セグメント別業績予想まとめ

単位: 億円

- ポイント (1) 受注は13年度に続き6,500億円台を計画。
 (2) 売上は全セグメントで横ばいまたは増加。
 (3) 営業利益は建機で減少するも他セグメントでカバーし、全体としては増益。

		2013上期 実績	2013下期 実績	2014上期 予想	2014下期 予想	2013年度 実績	2014年度 予想
機械コンポーネント	受注高	488	497	500	550	985	1,050
	売上高	473	527	500	550	1,000	1,050
	営業利益	26	32	30	40	59	70
精密機械	受注高	655	690	700	700	1,345	1,400
	売上高	631	704	650	800	1,335	1,450
	営業利益	34	53	30	70	87	100
建設機械	受注高	1,001	932	930	920	1,933	1,850
	売上高	927	998	950	900	1,925	1,850
	営業利益	33	70	40	40	103	80
産業機械	受注高	375	470	370	430	845	800
	売上高	313	475	350	450	788	800
	営業利益	3	37	10	30	41	40
船舶	受注高	118	199	130	140	317	270
	売上高	62	86	110	130	148	240
	営業利益	20	10	10	5	30	15
環境・プラント	受注高	363	680	530	520	1,042	1,050
	売上高	279	583	400	600	862	1,000
	営業利益	5	67	10	70	62	80
その他	受注高	66	48	40	40	114	80
	売上高	46	49	40	70	95	110
	営業利益	11	11	10	5	22	15
合計	受注高	3,065	3,517	3,200	3,300	6,582	6,500
	売上高	2,730	3,423	3,000	3,500	6,153	6,500
	営業利益	84	260	120	250	343	370